中学校歴史 単元別学習 90 問

第 16 単元 第一次世界大戦と戦後の国際社会

範囲：大戦の背景／ロシア革命／戦後の国際協調／アジアの民族運動
用語と順序を確かめ、戦争・革命と平和への取り組みのつながりを説明しよう。

STEP 1 一問一答 50 問

列強の対立と第一次世界大戦

問 1　軍事力や経済力を背景に、植民地や勢力圏を広げようとする政策を何というか。

問 2　1882 年、ドイツ・オーストリア・イタリアが結んだ同盟を何というか。

問 3　1907 年までに、イギリス・フランス・ロシアの間で成立した協力の枠組みは何か。

問 4　民族や列強の対立が重なり、「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれた半島はどこか。

問 5　1914 年、オーストリアの皇位継承者夫妻が暗殺され、大戦のきっかけとなった事件は何か。

問 6　1914 年から 1918 年にかけて、ヨーロッパを中心に世界へ広がった戦争を何というか。

問 7　第一次世界大戦で、ドイツやオーストリアなどを中心とした陣営を何というか。

問 8　第一次世界大戦で、イギリス・フランスなどを中心とし、日本も加わった陣営は何か。

問 9　軍隊だけでなく、国民の労働力や経済力、物資などを動員して行う戦争を何というか。

問 10　西部戦線などで、兵士が身を守りながら長期間戦った、地面に掘った溝を何というか。

日本の参戦と大戦の展開

問 11　日本が第一次世界大戦に参戦する根拠とした、イギリスとの同盟は何か。

問 12　大戦中、日本が青島などのドイツの拠点を占領した、中国の半島はどこか。

問 13　1915 年、日本が中国の袁世凱政府に突きつけた、権益の拡大などを求める要求は何か。

問 14　大戦中、輸出や生産が増え、日本が好景気になったことを何というか。

STEP 1 一問一答 50 問 続き

問 15　1917 年に連合国側で参戦し、大戦の結果に大きな影響を与えた北アメリカの国はどこか。

問 16　ドイツが、中立国の船も含め潜水艦で攻撃し、海上輸送を断とうとした作戦は何か。

問 17　民族が自らの意思で、政治的な進路を決めるべきだという原則を何というか。

問 18　十四か条の平和原則を示し、国際平和機構の設立を提唱したアメリカ大統領は誰か。

問 19　1918 年、ウィルソンが秘密外交の廃止や国際平和機構の設立などを示した提案は何か。

ロシア革命とソビエト連邦

問 20　1917 年、皇帝の支配を倒した後、社会主義政権が生まれたロシアの一連の出来事は何か。

問 21　1917 年秋の革命を指導し、ロシアに社会主義政権をつくった指導者は誰か。

問 22　ロシア革命で、労働者や兵士などが組織した代表者の会議を何というか。

問 23　レーニンが率い、1917 年秋に政権を握った革命派の党派を何というか。

問 24　生産手段を社会全体で所有することなどにより、経済の平等を目指す考え方は何か。

問 25　1918 年、日本などが革命政権への干渉などのため、シベリアへ軍隊を送った出来事は何か。

問 26　1922 年、ロシアなどの共和国が結び付いて成立した、社会主義の連邦国家は何か。

問 27　ソビエト連邦で、政治の実権を握った政党を何というか。

問 28　1921 年、レーニンが経済復興のため、農産物の販売などを一部認めた政策は何か。

問 29　レーニンの死後に実権を握り、五か年計画などを進めたソ連の指導者は誰か。

講和と国際平和への取り組み

問 30　1919 年、大戦後の講和条件を話し合うため、フランスの首都で開かれた会議は何か。

問 31　1919 年、連合国とドイツとの間で結ばれた、第一次世界大戦の講和条約は何か。

問 32　戦争の被害を補償するため、ドイツなどに支払いが求められた金銭を何というか。

問 33　1920 年、世界の平和と国際協力を目指して発足した国際機構は何か。

問 34　国際連盟の本部が置かれた、スイスの都市はどこか。

問 35　1919 年に設立され、労働条件の改善や社会正義を通じて平和を目指した国際機関は何か。

問 36　1921 年から翌年にかけ、海軍軍縮や東アジア・太平洋の問題を話し合った会議は何か。

問 37　1922 年、米英日仏伊の主力艦の保有量を制限した条約は何か。

戦後の国際協調と民主化

問 38　ワシントン会議で、中国の主権・独立の尊重や商工業上の機会均等を定めた条約は何か。

問 39　日米英仏が、太平洋の島々に関する権利の尊重や紛争の平和的解決を約した条約は何か。

問 40　1920 年代、英米との協調や中国との経済関係を重視する外交を進めた外務大臣は誰か。

問 41　1925 年、ドイツとフランスなどが国境の尊重や平和的解決を約束した条約群は何か。

問 42　1928 年、国の政策を進める手段としての戦争を放棄することを定めた条約は何か。

問 43　1919 年、ドイツで制定され、男女普通選挙や社会権などを定めた憲法は何か。

問 44　1924 年、ドイツの賠償金の支払いを調整し、米資本による経済再建を支えた案は何か。

アジアの民族運動

問 45　1919 年 3 月 1 日に始まり、日本の植民地支配からの独立を求めて朝鮮に広がった運動は何か。

問 46　1919 年 5 月 4 日、北京の学生の抗議から、中国各地へ広がった民族運動は何か。

問 47　非暴力・不服従を掲げ、インドの独立運動を指導した人物は誰か。

問 48　暴力を使わず、不当な支配や命令には従わないという、ガンディーの運動方針は何か。

問 49　1885 年に結成され、のちにガンディーらが活動した、インド独立運動の中心組織は何か。

問 50　1923 年、ムスタファ・ケマルを中心に成立した共和国は何か。

STEP 2 歴史の並び替え 20 問

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 1　列強の対立から大戦へ

ア サラエボ事件が起こる　　イ 日本が二十一か条を要求する
ウ 三国同盟が結ばれる　　エ 三国協商が成立する

問 2　大戦の展開

ア 第一次世界大戦が始まる　　イ 日本が二十一か条を要求する
ウ アメリカが大戦に参戦する　　エ ドイツとの休戦が成立する

問 3　日本の参戦と戦後の講和

ア 日本が大戦に参戦する　　イ シベリア出兵が始まる
ウ 日本が二十一か条を要求する　　エ ベルサイユ条約が結ばれる

問 4　革命と平和構想

ア 十四か条の平和原則が示される　　イ ベルサイユ条約が結ばれる
ウ ロシア革命が起こる　　エ 国際連盟が発足する

問 5　革命政権と連邦の成立

ア ロシア革命が起こる　　イ シベリア出兵が始まる
ウ ソビエト連邦が成立する　　エ 新経済政策が始まる

問 6　革命後の国際関係

ア ロカルノ条約が結ばれる　　イ シベリア出兵が始まる
ウ ソビエト連邦が成立する　　エ 国際連盟が発足する

問 7　国際平和への取り組み

ア ワシントン会議が始まる　　イ 国際連盟が発足する
ウ 不戦条約が結ばれる　　エ ベルサイユ条約が結ばれる

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 8　中国と戦後の国際秩序

ア 五・四運動が起こる　　イ 日本が二十一か条を要求する
ウ ワシントン会議が始まる　　エ 九か国条約が結ばれる

問 9　民族運動と国際社会

ア ワシントン会議が始まる　　イ 三・一独立運動が起こる
ウ 国際連盟が発足する　　エ トルコ共和国が成立する

問 10　大戦からソビエト連邦へ

ア 第一次世界大戦が始まる　　イ 新経済政策が始まる
ウ ソビエト連邦が成立する　　エ ロシア革命が起こる

問 11　ヨーロッパの協調

ア ロカルノ条約が結ばれる　　イ ベルサイユ条約が結ばれる
ウ 不戦条約が結ばれる　　エ ドーズ案が採用される

問 12　ドイツと戦後の再建

ア ロカルノ条約が結ばれる　　イ ドーズ案が採用される
ウ ドイツとの休戦が成立する　　エ ワイマール憲法が制定される

問 13　平和原則から国際会議へ

ア ベルサイユ条約が結ばれる　　イ 十四か条の平和原則が示される
ウ ワシントン会議が始まる　　エ 国際連盟が発足する

問 14　アジアの動きと条約

ア 九か国条約が結ばれる　　イ 三・一独立運動が起こる
ウ 日本が二十一か条を要求する　　エ トルコ共和国が成立する

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 15　大戦と日本の対外関係

ア ベルサイユ条約が結ばれる　　イ 海軍軍縮条約が結ばれる
ウ シベリア出兵が始まる　　エ 第一次世界大戦が始まる

問 16　アメリカと戦後秩序

ア ワシントン会議が始まる　　イ 十四か条の平和原則が示される
ウ 国際連盟が発足する　　エ アメリカが大戦に参戦する

問 17　社会主義政権と国際秩序

ア 新経済政策が始まる　　イ 不戦条約が結ばれる
ウ ロシア革命が起こる　　エ ソビエト連邦が成立する

問 18　中国とワシントン体制

ア 五・四運動が起こる　　イ 不戦条約が結ばれる
ウ 九か国条約が結ばれる　　エ ワシントン会議が始まる

問 19　休戦から軍縮・不戦へ

ア 不戦条約が結ばれる　　イ 国際連盟が発足する
ウ ドイツとの休戦が成立する　　エ 海軍軍縮条約が結ばれる

問 20　対立と協調の歩み

ア ロカルノ条約が結ばれる　　イ ベルサイユ条約が結ばれる
ウ 第一次世界大戦が始まる　　エ 三国協商が成立する

STEP 3 記述問題 20 問

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 1　第一次世界大戦の背景と、直接のきっかけを分けて説明しなさい。列強の対立とサラエボ事件に触れること。

問 2　バルカン半島の事件から始まった対立が、なぜ世界的な戦争へ広がったのか。同盟関係と、ヨーロッパ以外の地域に触れて説明しなさい。

問 3　第一次世界大戦が総力戦と呼ばれるのはなぜか。軍隊以外の人々や、産業・物資の動員に触れて説明しなさい。

問 4　日本は第一次世界大戦に、どのような根拠で参戦し、中国で何を進めたか。二十一か条の要求にも触れて説明しなさい。

問 5　1917 年のロシア革命は、皇帝が退位すると同時にレーニンの政権ができた出来事だったか。春と秋の二つの段階から説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 6　レーニンが新経済政策を始めたのはなぜか。また、経済の仕組みをどう変えたか。資料を使って説明しなさい。

資料　革命後の内戦などで生産が落ち込み、食料不足が深刻だった。政府は農産物の販売や小規模な商工業の私的な経営などを、一部認めるようにした。

問 7　「ソビエト」と「ソビエト連邦」は、何が違うか。また、ロシア革命とソビエト連邦成立の年をそれぞれ示して説明しなさい。

問 8　シベリア出兵が、ロシア革命への「干渉」とされるのはなぜか。日本などの外国軍と、革命政権の関係から説明しなさい。

問 9　大戦後、民族自決の原則は全ての民族に等しく実現したか。ヨーロッパと、アジアなどの植民地の違いから説明しなさい。

問 10　ベルサイユ条約は何を定め、どのような課題も残したか。ドイツに課された条件と、人々の反応に触れて説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 11　国際連盟は何を目指したか。また、平和を守る力にどのような限界があったか。資料を使って説明しなさい。

資料　国際連盟は話合いや協力で紛争を解決しようとした。アメリカは参加せず、連盟自身の軍隊はなかった。制裁を行う場合も、加盟国の協力に頼る必要があった。

問 12　ガンディーの非暴力・不服従は、単に何もしないという意味か。資料を使い、支配への抵抗の方法を説明しなさい。

資料　ガンディーらは、イギリスの商品を買わないことや、支配のための制度に協力しないことなどを呼びかけた。

問 13　ワシントン海軍軍縮条約は、何を制限した条約か。「全ての国の、全ての兵器をなくした条約」といってよいか。説明しなさい。

問 14　四か国条約と九か国条約は、主にどの地域の、どのような関係を定めたか。両者を区別して説明しなさい。

問 15　幣原喜重郎の外交は、どのような方法で日本の利益を守ろうとしたか。英米との関係や中国との経済関係に触れて説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 16　1920 年代のドイツでは、国内の政治制度と、国際的な経済・外交関係にどのような動きがあったか。資料を使って説明しなさい。

資料　1919 年にワイマール憲法が制定された。1924 年のドーズ案で賠償の支払いが調整され、1925 年のロカルノ条約では西側の国境の尊重などが約束された。

問 17　発展　「三国同盟の加盟国は、第一次世界大戦でも全て同じ側で戦った」といえるか。資料を使って説明しなさい。

資料　三国同盟はドイツ・オーストリア・イタリアで成立した。しかし、イタリアは 1915 年に連合国側で参戦した。

問 18　発展　三・一独立運動と五・四運動は、共通する点と、置かれた状況や目標にどのような違いがあったか。朝鮮と中国の違いから説明しなさい。

問 19　発展　不戦条約によって、戦争を防ぐ仕組みは完成したといえるか。条約の意義と限界を、資料を使って説明しなさい。

資料　条約は国の政策の手段としての戦争を放棄し、紛争の平和的解決を求めた。一方、自衛権は認められ、違反を確実に止める共通の軍事力が備わったわけではなかった。

問 20　発展　1918 年・1919 年・1920 年の出来事は、それぞれ戦争と平和にどのような意味を持ったか。資料の順序を使って説明しなさい。

資料　1918 年にドイツとの休戦が成立した。1919 年にベルサイユ条約が調印され、1920 年に国際連盟が発足した。

解答 STEP 1 一問一答

表記が異なっていても、同じ内容を正しく示していれば正解とします。

番号	解答	番号	解答
1	帝国主義	26	ソビエト社会主義共和国連邦
2	三国同盟	27	共産党
3	三国協商	28	新経済政策（ネップ）
4	バルカン半島	29	スターリン
5	サラエボ事件	30	パリ講和会議
6	第一次世界大戦	31	ベルサイユ条約
7	同盟国	32	賠償金
8	連合国	33	国際連盟
9	総力戦	34	ジュネーブ
10	塹壕	35	国際労働機関（ILO）
11	日英同盟	36	ワシントン会議
12	山東半島	37	ワシントン海軍軍縮条約
13	二十一か条の要求	38	九か国条約
14	大戦景気	39	四か国条約
15	アメリカ合衆国	40	幣原喜重郎
16	無制限潜水艦作戦	41	ロカルノ条約
17	民族自決	42	不戦条約
18	ウィルソン	43	ワイマール憲法
19	十四か条の平和原則	44	ドーズ案
20	ロシア革命	45	三・一独立運動
21	レーニン	46	五・四運動
22	ソビエト	47	ガンディー
23	ボリシェビキ	48	非暴力・不服従
24	社会主義	49	インド国民会議
25	シベリア出兵	50	トルコ共和国

認められる表記の例

問 13：対華二十一か条要求も可。問 18：ウイルソンも可。
問 26：ソ連・ソビエト連邦も可。問 28：NEP も可。問 31：ヴェルサイユ条約も可。
問 35：ILO も可。問 43：ヴァイマール憲法も可。問 45・46：中黒「・」の省略も可。

解答 STEP 2 並び替え

出来事の年代と、その前後のつながりも確認しましょう。

番号	答え	解説
1	ウ→エ→ア→イ	三国同盟の成立（1882 年） → 三国協商の成立（1907 年） → サラエボ事件（1914 年） → 日本による二十一か条の要求（1915 年）
2	ア→イ→ウ→エ	第一次世界大戦の開始（1914 年） → 日本による二十一か条の要求（1915 年） → アメリカの第一次世界大戦参戦（1917 年） → ドイツとの休戦と大戦の戦闘終結（1918 年）
3	ア→ウ→イ→エ	日本の第一次世界大戦参戦（1914 年） → 日本による二十一か条の要求（1915 年） → シベリア出兵の開始（1918 年） → ベルサイユ条約の調印（1919 年）
4	ウ→ア→イ→エ	ロシア革命（1917 年） → 十四か条の平和原則（1918 年） → ベルサイユ条約の調印（1919 年） → 国際連盟の発足（1920 年）
5	ア→イ→エ→ウ	ロシア革命（1917 年） → シベリア出兵の開始（1918 年） → 新経済政策の導入（1921 年） → ソビエト連邦の成立（1922 年）
6	イ→エ→ウ→ア	シベリア出兵の開始（1918 年） → 国際連盟の発足（1920 年） → ソビエト連邦の成立（1922 年） → ロカルノ条約（1925 年）
7	エ→イ→ア→ウ	ベルサイユ条約の調印（1919 年） → 国際連盟の発足（1920 年） → ワシントン会議の開始（1921 年） → 不戦条約（1928 年）
8	イ→ア→ウ→エ	日本による二十一か条の要求（1915 年） → 中国の五・四運動（1919 年） → ワシントン会議の開始（1921 年） → 九か国条約（1922 年）
9	イ→ウ→ア→エ	朝鮮の三・一独立運動（1919 年） → 国際連盟の発足（1920 年） → ワシントン会議の開始（1921 年） → トルコ共和国の成立（1923 年）
10	ア→エ→イ→ウ	第一次世界大戦の開始（1914 年） → ロシア革命（1917 年） → 新経済政策の導入（1921 年） → ソビエト連邦の成立（1922 年）

解答 STEP 2 並び替え 続き

番号	答え	解説
11	イ→エ→ア→ウ	ベルサイユ条約の調印（1919 年） → ドーズ案の採用（1924 年） → ロカルノ条約（1925 年） → 不戦条約（1928 年）
12	ウ→エ→イ→ア	ドイツとの休戦と大戦の戦闘終結（1918 年） → ワイマール憲法（1919 年） → ドーズ案の採用（1924 年） → ロカルノ条約（1925 年）
13	イ→ア→エ→ウ	十四か条の平和原則（1918 年） → ベルサイユ条約の調印（1919 年） → 国際連盟の発足（1920 年） → ワシントン会議の開始（1921 年）
14	ウ→イ→ア→エ	日本による二十一か条の要求（1915 年） → 朝鮮の三・一独立運動（1919 年） → 九か国条約（1922 年） → トルコ共和国の成立（1923 年）
15	エ→ウ→ア→イ	第一次世界大戦の開始（1914 年） → シベリア出兵の開始（1918 年） → ベルサイユ条約の調印（1919 年） → ワシントン海軍軍縮条約（1922 年）
16	エ→イ→ウ→ア	アメリカの第一次世界大戦参戦（1917 年） → 十四か条の平和原則（1918 年） → 国際連盟の発足（1920 年） → ワシントン会議の開始（1921 年）
17	ウ→ア→エ→イ	ロシア革命（1917 年） → 新経済政策の導入（1921 年） → ソビエト連邦の成立（1922 年） → 不戦条約（1928 年）
18	ア→エ→ウ→イ	中国の五・四運動（1919 年） → ワシントン会議の開始（1921 年） → 九か国条約（1922 年） → 不戦条約（1928 年）
19	ウ→イ→エ→ア	ドイツとの休戦と大戦の戦闘終結（1918 年） → 国際連盟の発足（1920 年） → ワシントン海軍軍縮条約（1922 年） → 不戦条約（1928 年）
20	エ→ウ→イ→ア	三国協商の成立（1907 年） → 第一次世界大戦の開始（1914 年） → ベルサイユ条約の調印（1919 年） → ロカルノ条約（1925 年）

解答 STEP 3 記述問題

模範解答は一例です。同じ意味を正しく説明できていれば正解とします。
「採点のポイント」を満たすか確認し、足りない言葉を自分の解答に加えよう。

問題	模範解答	採点のポイント
問 1 大戦の背景	背景には、植民地や勢力圏をめぐる列強の競争、軍備の拡大、同盟・協商の対立があった。こうした緊張の中でサラエボ事件が起こり、オーストリアとセルビアの対立をきっかけに戦争が広がった。	長期的な列強の対立と、サラエボ事件という直接のきっかけを区別する。
問 2 戦争の世界化	各国が同盟関係や自国の利害から参戦し、ヨーロッパの列強の戦争となった。列強の植民地も戦争に動員され、日本やアメリカも加わったため、戦争はヨーロッパ以外にも広がった。	同盟関係・各国の判断による参戦と、植民地や日米を含む世界への拡大を示す。
問 3 総力戦と社会	前線の軍隊だけでなく、国全体の労働力や工業生産、食料、資金などが戦争に動員されたためである。女性を含む多くの人々が軍需生産などを担い、戦争は国民生活全体に影響した。	軍隊の戦闘だけでなく、労働・産業・生活の動員が行われたことを示す。
問 4 日本の参戦	日本は日英同盟を根拠に連合国側で参戦し、山東半島などのドイツの拠点を占領した。さらに、中国に二十一か条の要求を示して権益を広げようとし、中国の人々の反発を招いた。	日英同盟、ドイツ拠点の占領、対中国要求と反発をつなげて説明する。
問 5 革命の二段階	同時ではない。春の革命で皇帝が退位し、臨時政府ができた。しかし戦争や生活の困難が続いて支持を失い、秋にはレーニンらのボリシェビキが臨時政府を倒し、社会主義政権をつくった。	皇帝退位と臨時政府の成立、秋の革命による政権交代を区別する。
問 6 新経済政策	内戦などで疲弊した経済を立て直し、生産を回復させるためである。農産物の販売や小規模な私的経営など、市場の仕組みを一部認めた。社会主義政権を保ちながら経済政策を修正した。	生産回復の目的と、市場や私的経営を一部取り入れた政策転換を示す。
問 7 ソビエトとソ連	ソビエトは、労働者や兵士などの代表者の会議を指す。1917 年のロシア革命で社会主義政権ができ、その後 1922 年にロシアなどの共和国が結び付き、国家としてのソビエト連邦が成立した。	代表者会議と連邦国家の違い、および 1917 年と 1922 年の違いを示す。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 8 出兵と革命干渉	日本などはチェコスロバキア軍の救援を名目に出兵したが、革命に反対する勢力への支援なども行った。外国が軍隊を送り、革命後のロシアの政治や政権の行方に影響を及ぼそうとしたためである。	救援の名目だけでなく、軍事介入で革命後の政治に影響を与えたことを示す。
問 9 民族自決の限界	等しく実現したわけではない。ヨーロッパでは新たな独立国が生まれたが、アジアやアフリカでは植民地支配が多く残った。民族自決への期待が広がる一方、独立を求める人々と列強の支配との対立が続いた。	ヨーロッパの新国家と植民地支配の継続を対比し、原則の適用の限界を示す。
問 10 講和と負担	連合国とドイツの講和条件を定め、ドイツには領土の割譲や軍備の制限、賠償金の支払いなどを課した。戦後の秩序をつくる一方、厳しい条件はドイツの負担と反発を強め、対立の原因も残した。	講和と戦後秩序の形成、ドイツへの条件、負担や反発という課題を示す。
問 11 国際連盟の意義	国際協力や話合いを通じて紛争を解決し、戦争を防ぐことを目指した。しかし、提唱国のアメリカが参加せず、連盟自身の軍隊もなかった。制裁や平和維持には加盟国の協力が必要で、実効性に限界があった。	国際的な平和維持の意義と、米国不参加・加盟国への依存という限界を示す。
問 12 非暴力の抵抗	何もしないという意味ではない。暴力を使わずに、商品の不買や支配の制度への非協力などで意思を示した。多くの人々が参加し、イギリスの支配を支える仕組みに従わず、自治や独立を求める抵抗だった。	暴力を避けることと、積極的な不買・非協力などによる抵抗を結び付ける。
問 13 海軍軍縮の範囲	日本・アメリカ・イギリス・フランス・イタリアの主力艦の保有量などを制限した条約である。各国の海軍競争を抑える取り組みだったが、全ての国や兵器を対象に軍備を廃止したわけではない。	主要 5 か国の主力艦などの制限と、全面的な軍備廃止ではないことを示す。
問 14 四か国と九か国	四か国条約は、日米英仏が太平洋の島々に関する相互の権利を尊重し、紛争を平和的に解決することを定めた。九か国条約は、中国の主権・独立の尊重や、中国での各国の商工業上の機会均等などを定めた。	太平洋の 4 か国の権利と、中国をめぐる 9 か国の原則の違いを示す。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 15 幣原外交の方針	英米との協調や国際的な取決めを重視し、交渉や経済関係を通じて日本の利益を守ろうとした。ワシントン体制の下で各国との関係を調整し、中国との貿易などの経済活動の発展を目指した。	国際協調・交渉と、中国などとの経済関係を重視する方針を示す。
問 16 再建と国際協調	国内ではワイマール憲法による民主的な政治制度がつくられた。経済ではドーズ案や米資本による再建が進められ、外交ではロカルノ条約などを通じ、かつて敵対した国々との関係改善が図られた。	国内の民主化、経済再建、外交的な協調という異なる面の動きを示す。
問 17 同盟と戦争陣営	いえない。三国同盟の結成時の枠組みと、実際の大戦の陣営は一致しなかった。イタリアは同盟国側ではなく連合国側で参戦したため、条約上のつながりと戦争中の各国の行動を区別する必要がある。	イタリアの例を根拠に、同盟結成時の加盟国と実際の陣営の違いを示す。
問 18 二つの民族運動	どちらも外国の支配や干渉に抵抗する民族運動だった。朝鮮では日本の植民地支配からの独立を求めた。中国では、山東の権益問題などの講和処理や日本の要求に反対し、主権を守ることを求めた。	外国の支配・干渉への抵抗という共通点と、植民地からの独立と中国の主権擁護の違いを示す。
問 19 不戦条約の限界	完成したとはいえない。戦争を政策の手段としないと約束した点には意義があった。しかし、自衛権が認められ、違反を止める強制力にも限界があったため、条約の約束を実際に守らせることが課題として残った。	戦争放棄の意義と、自衛権・実効性の限界を区別して説明する。
問 20 戦後秩序の形成	1918 年の休戦は大戦の戦闘を終わらせ、1919 年の条約はドイツとの講和条件を定めた。1920 年の連盟は国際協力で平和を守る仕組みだった。戦闘の終結、講和、平和維持の制度づくりは、異なる段階だった。	休戦・講和条約・国際機構を、年代とそれぞれの役割で区別する。